

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	浜田教育センター	氏名	和田 沙織
派遣先 団体名	特定非営利活動法人 ちゃいるどりーむ (江津市子育てサポートセンター)		

## ① 研修の日時

日 程	概 要
8月29日 (水)	離乳食教室の参観、サポートセンターの事業概要について伺う
9月 4日 (火)	「赤ちゃん登校日」事前学習、前日準備
9月 5日 (水)	「赤ちゃん登校日」関わり体験 1回目
10月 4日 (木)	「赤ちゃん登校日」関わり体験 2回目 4年生へ向けたコミュニケーション講座
11月 1日 (木)	「赤ちゃん登校日」関わり体験 3回目

## ② 研修の内容

## (1) 子育てサポートセンター事業概要、離乳食講座

NPO法人ちゃいるどりーむは江津市子育て支援課から委託を受けて子育てサポートセンターの運営を行っています。子どもたちの幸せを願い様々な子育ての支援事業や、今回研修で参加させていただく「赤ちゃん登校日」についてお話を伺いました。全国放送のテレビ番組でも取り上げられるほど、市独自の取り組みとして注目されていて、その映像を見ただけで本番がとても楽しみになりました。また、離乳食講座にも参加させていただきました。初めての離乳食に向けて生後5か月前後の赤ちゃんお母さんがたくさん来ておられ、お母さん方が講座を受けている間赤ちゃんたちと一緒に遊びました。

## 江津市子育てサポートセンター

- ・子育て支援事業
- ・ファミリーサポートセンター事業
- ・赤ちゃん登校日
- ・こどもまつり
- ・おやこキラキラコンサート 等々

## (2) 赤ちゃん登校日

「赤ちゃん登校日」は小学5年生の児童のみなさんが、赤ちゃんとそのお父さんお母さんとペアになり触れ合うことでコミュニケーション力を育む授業です。今回私は津宮小学校で行われた授業に参加しました。小学5年生の児童のみなさんは事前授業を受け、9月～11月の間の各月1回、合計3回赤ちゃん親子と関わり体験をします。私は主に会場設営のお手伝いをさせていただきました。会場の飾り付けをしたり、赤ちゃんが寝ころべるようにジョイントマットを引き丁寧に拭き上げをしたり、授乳室スペースを作ったりと、赤ちゃん親子が気持ちよく過ごせる環境づくりを行いました。関わり合い体験当日は赤ちゃん親子の受付や片づけを行い、授業も聴講させていただきました。

### ③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

#### (1)江津市子育てサポートセンター

全国各地にある子育てサポートセンターというのは市が運営するものだと思い込んでいた私にとってNPO法人で運営をされているということにとっても驚きでした。職員の異動が伴う市が直接運営するのではなく、経験があり、子育てや教育に対して熱い思いを持った方々が長期的に運営を行うことで、よりきめこまやかな子育て支援を行いたいという思いから設立されたそうです。

参加した離乳食講座では江津市の保健師の方がセンターに来られて離乳食の作り方や栄養指導を行っていました。初めての離乳食は、子育て中のお母さんにとって大きな関門です。私も子育て中に思いましたが、「うまく作れるのだろうか?」「そもそも作る時間が作れるのだろうか?」と不安に思うことが多いものです。そんな不安を保健師の方々が心強いサポートをしておられました。保健師の方々はサポートセンター職員の方々とも連携を取られており、市と情報共有をしながら取り組みを進めておられるのだと実感しました。

また、このサポートセンターは未就学期間だけでなく小学校に行ってもサポートしているという特徴があります。「子育て」と聞くと赤ちゃんや小さなお子さんを持つお父さんお母さんへのサポートが浮かびますが、長い期間サポートできるという点は江津市ならではの点ではないかと感じました。親への金銭的な支援ではなく子どもへの直接的な支援をすることで、親子が楽しく、夫婦が楽しく、そして家族が楽しく過ごせる取り組みをされていて江津市で育つ子どもたちは幸せだと感じました。

#### (2)赤ちゃん登校日

赤ちゃん登校日は生後4か月前後の赤ちゃん親子を学校にお迎えして小学生との関わり体験をする授業です。サポートセンターの職員の方々は赤ちゃん親子へのフォローもとても細やかで毎回お手紙を出されたり、泣いても大丈夫と心配事がないようにお声掛けされたりして安心して赤ちゃんを連れてこられるように配慮されていました。

事前学習では、講師として元鳥取大学医学部准教授の高塚先生が講義をされ、同じものを見ていても一人ひとりの受け止め方の違いがあること、価値観の違いを大切に相手を思いやる大切さなどのコミュニケーションについて学ぶ講義をされました。この事前学習は5年生のみなさんにとって普段の授業より長い1時間以上の講義でしたが、みなさん熱心に話を聞いていて赤ちゃんに会えるのを楽しみにしているように見えました。

赤ちゃんとの関わり体験1日目はまだ残暑厳しい9月初旬だったので学校の体育館ではなく、冷房がある地場産センターが会場でした。児童のみなさんも赤ちゃんのお父さんお母さんも少し緊張している様子でしたが、事前学習で教わったように生徒のみなさんが自分からペアの赤ちゃん親子を迎えに行き、挨拶をして話しかけようと頑張っている姿がとても印象的でした。そして、児童のみなさんが自己紹介を始めると今まで泣いていた赤ちゃんもピタッと泣き止みご機嫌になりました。生後間もなくとも児童のみなさんの声に癒され穏やかな気持ちになっているのだと感じました。

赤ちゃんとの関わり体験2日目は、緊張がほぐれ、前回よりも話せた嬉しそうな児童のみなさんの笑顔を見ることができました。お父さんお母さんも子どもたちにミルクをやったりおむつを替えてもらえるよう時間を調整して、子どもたちに楽しい充実した時間を過ごしてもらおうとされているのが印象的でした。

そして最終日の赤ちゃんとのかわり体験3日目は、児童の皆さんも赤ちゃん親子のみなさん

も今日を大事にしようと名残惜しそうに一緒の時間を過ごしているのが印象的でした。1度だけパートナーになって交流するだけではなく、同じパートナーと3回連続で過ごすことによって次回会えるまで「今度は何をしようか」「どんなことを話そうか」と考える楽しみもあり、会った時に成長した姿を見ることができる喜びがあるのだと思います。最後のお別れのシーンでは一人ひとり感想を言ったり歌のプレゼントをしたりして赤ちゃん親子に感謝の気持ちを伝えていました。児童のみなさんも実際に赤ちゃんに触れ、成長する喜びを一緒に感じることによって、自分たちも愛されて育ってきたことに気づき自信がつくような気がしました。

また、担任の先生方をはじめ学校の先生方はこの日を迎えるまでに子どもたちとコミュニケーションとは何か考えたり、心地よいクラスを作るにはどうしたらいいか考えたり、その日だけではなくこの授業を通して何を子どもたちに感じてもらうかをとても考えておられて準備にもすぐく時間をかけておられました。

お父さんお母さんの立場としても、自分の子どもの成長と一緒に喜んでくれる相手がいることがとてもうれしいだろうなと思いました。自分の子どもは特別に可愛くてそれを一人で感じるのもったいないと思う時があります。そこでこんなに自分の子どものことをかわいがってくれる存在がいることはとてもうれしいことだと思いました。自分の子供へ宛てて書いてくれた手紙や絵本はお母さんたちの一生の宝物です。子育ては自分ひとりの世界に入ってしまうがちですが、社会全体が子育てに興味を持ち、社会全体で子どもを育てるきっかけになる素敵な取り組みだと思いました。

江津市ではこの取り組みを10年以上続けてやっておられ、このような素晴らしい輪が広まっていると思います。子どもたちや子育てをする人たち全員が、地域に愛着を持ち「このまちが好き」とずっと住み続けたいと思えるまちづくりには、このような地域との関わりが重要なのだと感じました。

最後に、この研修でお世話になったNPO法人ちやいるどりーむのみなさん、赤ちゃん親子のみなさん、講師の高塚先生、津宮小学校の先生や児童のみなさんなど関わってくださったすべての方に感謝申し上げます。また、本来は児童のみなさんの穏やかな表情やかわいい赤ちゃんの笑顔などたくさんの写真を載せたいと思いましたが、すべてのお子さんや保護者の方々に了解を得ることは難しいのでこの場では載せておりません。しかし、素敵な写真が江津市子育てサポートセンターホームページ(<https://www.kosodate-hitomaro.jp/hitomaro/toukouubi/26/top.html>)にたくさん載っていますのでぜひそこを覗いてみてください。

### (3) その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成31年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。